

令和5年度障がい者芸術祭
知事賞「森の妖精」

編集・発行

三重県障害者社会参加推進センター 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 TEL (059) 232-6803 E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp
 公益社団法人 三重県障害者団体連合会 三重県身体障害者総合福祉センター内 FAX (059) 231-7182 HP http://www.mie-kensinren.or.jp

令和6年度 三重県障がい者芸術文化祭

地域で表現活動を行う障がい者の活躍を広げるための文化祭です。今年度は津市開催。

昨年度は500点以上もの作品が集まりました。今年度もたくさんの方からのご応募、ご参加をお待ちしております。

◆開催日時

令和6年11月22日（金）プレオープン
 作品展のみ 10時～16時
 11月23日（土）作品展・ステージ発表
 10時～16時
 11月24日（日）作品展：10時～14時
 （表彰式10時～）
 ステージ発表：11時～14時

◆会場

津市白山総合文化センター
 〒515-2602 三重県津市白山町二本木1139-2
 ・作品展：全館
 ・ステージ発表：しらさぎホール

◆募集内容

●作品展

応募対象：三重県内に住所を有する障がいのある方
 ・作品は1人1点（未発表の作品に限る）
 ・部門：絵画、写真、書道、陶芸、手芸、工芸（版画・彫刻含む）、俳句、貼り絵・その他
 ・部門別に優秀賞を選定し表彰します。
 ・作品規格は募集パンフレット参照
 ・特別支援学校コーナー（公募対象外）
 ・共同作品コーナー（賞対象外）

●ステージ発表

応募対象：障がいのある方が出演者の半数以上を占める三重県内の団体
 ・歌唱、楽器演奏、演劇、ダンス等
 ・出演時間は、準備を含め1団体30分以内

◆応募方法

募集パンフレットの応募用紙により、事務局へ郵送、FAXまたはメールにて応募期日内に申し込む。※応募用紙はホームページからもダウンロード可能



募集ページはこちら

◆応募期間（申込書を受け付ける期間）

令和6年8月1日（木）～9月13日（金）（必着）
 三重県知事賞、三重県議会議長賞、実行委員長賞、きらめき新人賞、奨励賞
 被表彰者には賞品を贈呈する。

◆作品の搬入・搬出

搬入：令和6年11月18日（月）9時30分～16時
 搬出：令和6年11月24日（日）14時15分～16時
 事務局搬入出、郵送・宅配については募集パンフレットをご覧ください。（期日厳守）

◆事務局（送付先・問い合わせ先）

三重県障がい者芸術文化活動支援センター内
 三重県障がい者芸術文化祭実行委員会
 （公益社団法人 三重県障害者団体連合会）
 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
 TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182
 E-mail: info@mie-asc.jp

文化祭のサブタイトルも募集中!

応募資格：三重県内に住所のある方（障がいの有無は問いません）

募集内容：障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内。自作で未発表のものに限ります。
 作品募集とは別に1人3点まで応募できます。

応募期間：令和6年6月20日（木）～7月31日（水）

応募方法：サブタイトルの応募用紙、又ははがき等にサブタイトル、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号等を記入のうえ応募してください。

※選考されたサブタイトルは印刷物や広報媒体等において広く活用する予定です。採用された方には記念品を贈呈します。

令和4年度：ひとりひとりが主人公 想いを届ける芸術祭

令和5年度：だれもが輝ける あしたへ

第39回国民文化祭／第24回全国障害者芸術・文化祭
 「清流の国ぎふ」文化祭2024

令和6年10月14日（月・祝）～11月24日（日）

ともに・つなぐ・みらいへ
 ～ 清流文化の創造 ～

各種の文化活動を全国規模で発表・共演・交流する祭典です。岐阜県では、国民文化祭は平成11年度（第14回大会）以来25年ぶり2回目、全国障害者芸術・文化祭は平成14年度（第2回大会）以来、22年ぶり2回目の開催となります。

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県障害者団体連合会

皆様、日頃より障害者福祉に対して、深いご理解とご協力を賜りありがとうございます。

令和6年4月の改正障害者差別解消法施行により、事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化され、その周知・啓発等の取組が強化されています。

三重県においても、障がい者施策を取り巻く環境変化等を踏まえ、令和6年3月に、「みえ障がい者共生社会づくりプラン—2024年度～2026年度—」が策定され、障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざして、環境整備が進められています。

しかしながら、現実の社会では、まだまだ障がいを理由とする不当な差別的取扱いや障がいのある人への無理解や偏見に起因する事件、事故が絶えないという状況もあり、引き続き障がい者団体や県、市町などと連携を図りながら、障がい者理解の一層の促進に向けて取り組んでいきたいと思えます。

三重県障害者社会参加推進センターでは、県内に居住している障がい者及びその家族の福祉増進を図り、障がい者が地域社会に参画して、安心して暮らせる共生社会の実現に向けて各事業を実施しています。

事業については11ページの「開催事業予定」を参照ください。三重県障害者団体連合会は、ホームページにも行事予定を掲載しています。友人も交えて多くの参加を期待しています。

障がいのある人もない人も、互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会の実現に向け、これからもつながり、支え合う活動が必要です。関係組織の皆さんのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

会長 世古 佳清

事務局 ☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182

三重県精神保健福祉会

三重県の精神障がい者の現状と「精神保健福祉研修会」のご案内!

三重県の精神障がい者の状況について
県内で精神科を受診している人約40,000人（入

院中の人含む）、そのうち精神保健福祉手帳所持者18,577人（R6・3・31）です。

また県内受診者の50パーセント強（推定）約20,000の方が未就労（失業）です。

「通院はしているが、施設やデイケアには通えない当事者の、日中活動の場が著しく少ない」のが三重県内の当事者の悩みです。

当事者が困っていることは

「精神障害者は危険であるという漠然とした認識」（誤解・偏見）が根深く存在していることです。

○「医療機関で特定検診の受診を断られる」

○「ツアーから排除される」—統合失調症の人とは飛行機に乗れない!

○「アパートの入居を断られる」

○「不審者扱いされて通報される」

○「小さな落書き」で逮捕され2日間も留置される

○「学校の隣にグループホームを建てようとしたら自治会に反対される」

などが今なお、発生しています。

統合失調症（精神〇〇病）と言うだけで「危険」だと思われてしまうのです。

「めったにかからない病気」「一生治らない病気」「何をするかわからない怖い病気」

本当にそうなのでしょうか?

統合失調症とは—精神疾患の「代表」です!

(1) 全世界のどこでも人口の0.7～0.8%の割合で発症する。(15～35歳)

育て方や遺伝が原因ではない。誰がかかっても不思議ではない病気

(2) 脳神経伝達部の疾患—「神経伝達物質（ドーパミン）の異常」

脳細胞が破壊されているわけではない

—**人格は健全**

治療薬でドーパミンを制御することで、症状を安定させている。危険な存在ではない。

(3) 早く治療をすれば早く回復する。

リハビリの進歩、新しい治療薬の開発で「社会復帰できる程度」にはほとんどの人が回復します。(防衛医科大学 野村総一郎教授講演抜粋)

誤解・偏見の解消に向けて**当事者と交流する**

親切でやさしく思いやりのある当事者の本当の姿を身近に感じる

〈ほんの1～2時間でも当事者の皆さんと接した方々は理解が深まります〉

〇〇〇〇〇専門学校救急救命学科の学生さんが
職場実習後に書いた感想文

◎「驚くほど普通で健常人と何ら変わらない、むしろ
健常人より暖かいという印象を受けた」

◎「〇〇〇の人たちは普通の人と何ら変わらないと
いうこと、自分が今まで思っていた精神障がい者
の思いをすべて洗い流すようなそんな一日でし
た」

◎「どの人が利用者でどの人が指導員なのか見分け
ができないくらい普通に過ごしていた」

私たち家族会は毎年、「精神保健福祉研修会」と
いうイベントを開いています。このイベントでは開催
地周辺の皆さんに参加していただいて多くの統合失
調症当事者に接し、交流してもらうためです。

特に日頃、地域で活動される民生・児童委員の皆
さんや思春期の生徒さんと関わっておられる学校関係
者の方にも参加していただきたいと考えています。

交流を通じて、精神障がい者（統合失調症）に
対するイメージを一新していただくためです。

大会には桑員地域をはじめとして100人以上の当
事者が参加します。当日は舞台での発表やバザー
ブーススタッフとして当事者が躍動します。

今年10月31日、桑名市の「柿安シティホール」
で開催します。たった半日の交流で長年のモヤモヤ
が晴れる日になります。皆さん、お誘い合わせて、是
非ご来場ください。お待ちしております!!

「第45回三家連精神保健福祉研修会」

10月31日（木）柿安シティホール

NPO法人 三重県精神保健福祉会(さんかれん)

事務局 ☎・FAX 059-271-5808

E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重県視覚障害者協会

本協会は、県内の視覚に障がいのある会員の方々
で構成されており、協会本部事業のほか、県の施設
である三重県視覚障害者支援センター（以下「支援
センター」と表記）の指定管理者として、県内の視
覚障がい者の皆様にご利用いただける施設として管
理運営を行っています。

視覚障がい者の自立と社会参加の促進を図って
いくため、視覚障がい者の情報保障やデジタル化への
対応、道路や鉄道のバリアフリー化による外出保障、
就労などの諸問題について、社会へアピールして
いくことが必要です。当協会では、今年度も10月15
日の「国際白杖の日」には、県内数カ所において街

頭啓発活動を行う予定です。

令和5年度は、視覚障がい者の皆様が毎年楽しみ
にいただいている地域レクリエーション活動も積
極的に行い、多くのボランティアの支援を受けながら、
グランドゴルフやボウリング教室のほか、ハイキング
など計画どおり事業を進めることができました。

支援センターの事業については、12項目の数値
目標を設定していますが、令和4年度に目標を達成
できなかった「図書の新規製作編集タイトル数」に
ついては、令和5年度には達成することができました。
また、「奉仕員（ボランティア）スキルアップ講習会
出席者数」及び支援センター等で活動いただく「奉
仕員（初級）養成講習」における「音訳」について
は未達成でしたが、それ以外の10項目については目
標を達成することができました。これも支援センター
利用者、ボランティアの方々をはじめ、関係して頂い
た皆様のご理解、ご協力によるものと深く感謝してお
ります。

各項目の目標内容、目標値、実績値は以下のと
おりです。

① 図書貸出タイトル数

目標82,000タイトル、実績106,622タイトル

② 生活訓練参加者数 目標580人、実績582人

③ 図書の新規製作編集タイトル数

目標300タイトル、実績354タイトル

④ 図書だより発行回数 目標6回、実績12回

⑤ 点訳奉仕員養成講習（初級）開催日数

目標5日（回）、実績6日（回）

⑥ 点訳奉仕員養成講習（初級）修了者数

目標20人、実績24人

⑦ 点訳奉仕員養成講習（中級）開催日数

目標20日（回）、実績20日（回）

⑧ 音訳奉仕員養成講座開催日数

目標40日（回）、実績40日（回）

⑨ 音訳奉仕員養成講座修了者数

目標20人、実績16人

⑩ 奉仕員スキルアップ講習会出席者数

目標330人、実績264人

⑪ 県政だより点訳版・録音版発行回数

目標12回、実績12回

⑫ みえ県議会だより点訳版・録音版発行回数

目標7回、実績7回

引き続き、県内の視覚障がい者を取り巻く新たな
社会環境を十分に認識したうえで、支援センター利
用者の満足度を高めるため、管理・運営及び事業の
推進に注力してまいりますので、一層のご理解、ご

支援等よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会
三重県視覚障害者支援センター
〒514-0003 津市桜橋二丁目130番地
☎ 059-228-3463 FAX 059-228-8425
HP <http://www.mieten.jp>

三重県聴覚障害者協会

「三重県聴覚障害者協会」として今年度で創立77年目（1947年創立）を迎えます。この間、ろう者の自立・権利獲得に向けた活動を続けてこられたことは、ひとえに皆さまのご協力・ご支援の賜物と感謝いたしております。

2023年度は、大きな出来事がいくつもありました。今回は、その中から3件を主にとりあげることにいたします。

1つ目は、当協会会長深川誠子が、一般社団法人全日本ろうあ連盟の理事に立候補し当選したことです。今後は、全国の理事としてさらなる活躍を期待したいものです。

2つ目は、当協会の会員数が前年度の276名より24名増加し、300名となったことです。しかし、会員の41%を65歳以上の高齢者が占めることとなり、「本格的な高齢化」の波が押し寄せてきている現状です。この状況に歯止めをかけるため、勉強になる企画、魅力のある行事、楽しい交流会、参加者同士の情報共有により、若い世代との親睦を深めていかねばならないと考えています。

3つ目は、聴覚障害に対する理解を深める目的で、従来の「三重県ろう者文化祭」をイメージチェンジし、県内各所を会場とする『みみフェスティバル2023』を開催したことです。各専門部や各団体、各地域協会ほか関係者の皆さまには、さまざまなブースを出展していただき、公共機関からは、県警や海上保安庁、気象台などにも協力出展していただきました。久しぶりにアウトドアでの楽しいひと時を過ごせたと思います。

この他にも、東海地域レベルの「高齢部グラウンド・ゴルフ交流会」「東海デフ・ヤングフォーラム2023」を三重県で開催し、成功を収めることができました。また、三重県手話言語条例の施行から6年目に入り、「県民手話講座」を15回、「県職員及び市町福祉主管課窓口担当者等の手話研修」を5回実施できました。このように各部の事業を大過なく終えることができましたのも、関係団体ならびに参加者の皆さまのご支援とご協力あればこそと心より御礼申

申し上げます。

一方、設立12年を迎えた三重県聴覚障害者支援センターでは、2023年9月に個人情報流出という問題が発生しました。今後はこのような事態を繰り返さぬよう十分に研修を実施するなど、最大限の努力をして参ります。

養成事業では、『三重県盲ろう者通訳・介助員養成講座（2年）』『要約筆記者養成講座』『手話通訳者養成講座』をそれぞれ実施できました。そして、手話通訳者全国统一試験と全国统一要約筆記者認定試験の結果発表があり、三重県からは7名（手話通訳2名・要約筆記手書2名・要約筆記PC3名）が合格されました。これからも、より多くの方が意思疎通支援者として活躍してくださることを期待しています。

【2023年度：手話通訳116名、要約筆記69名、盲ろう者通訳・介助員69名】

新体制となった県理事メンバーは、さまざまな業務を経験する中で、会員の皆さまの思いに応えられるよう成長していきたいと願っております。新年度は、会員の高齢化と若年会員の減少という課題と向き合いながら10年先を見据えた協会づくりに取り組む所存です。創立77年の歴史と伝統を受け継ぎながら、我々の経験を新たな世代に引き継ぐことが何より重要だと考えています。皆さま、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330
E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp
HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

三重県知的障害者福祉協会

平素は、当福祉協会の事業・活動にご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年1月1日に発生した能登半島地震は、日を追うごとに被害の大きさが明らかになってきました。北陸地方の障害者施設や職員の方々の自宅等も被災され、今、人的な支援が必要とされています。当協会と致しましては、いち早く北陸地区の福祉協会へ義援金を送金するとともに、日本知的障害者福祉協会を通じ、施設・職員からの義援金も送金しました。また、人的支援については、各施設・事業所へ職員の派遣を継続中です。今後も、長期的な支援が必要であるため、引き続き、協会として協力していきたいと考えています。

令和6年度主な事業

1 研修事業

- ①事務・管理職員等事務研修
- ②新任職員研修
- ③虐待防止、身体拘束、職員メンタルヘルス、ストレスケア等研修
- ④職員交流研修
- ⑤課題別研修
- ⑥東海地区施設職員等研究協議会
(三重県で開催)

2 利用者交流等事業

- ①音楽を楽しむ会
- ②ふれあいモルック大会
- ③三重県主催、障がい者スポーツ事業に協力

3 研究事業

『事業所の個別支援計画の実態調査』

4 各部会活動

5 虐待事案に対する常設委員会の開催

会長 山野 文照 (新任)

事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

●研修会

- ・発声指導員養成のための研修会が、毎年10月中旬に三日間行われ一般会員の方も参加できます。
- ・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

●総会(発声教室、研修会) 5月25日(土)

三重県身体障害者総合福祉センター 大研修室
発声訓練の成果として「発声コンクール」を行いました。

●一泊研修旅行 未定

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール(カラオケ大会)を行います。

●出前授業 未定

●三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

※発声の事や健康相談等連絡下さい。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257 (塚本 明雄)

Eメール aki0350@zb.ztv.ne.jp

三重喉友会

当会は創立69年目になり、現在会員数は50名です。喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。発声教室で訓練をして日常会話が出来ようになり、社会や職場に早く復帰されることが目的です。この他、健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。

このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により県内病院での発声教室は休校中となっています。昨年5月に第5分類に移行されました。各病院が利用可能になり、例年のように活発な活動が出来るように全会員が願っています。

●発声教室

今年の発声教室は2か所で開校します。

1. 三重県身体障害者総合福祉センター 大研修室

2. 伊勢赤十字病院1階 山田ホール 5月から開校

・南勢地区

伊勢赤十字病院1階 山田ホール

第二木曜日 10時～12時

・東紀州地区(偶数月): 休校中

尾鷲総合病院1階 母親教室

第四木曜日 10時30分～12時

日本オストミー協会三重県支部

日頃はオストメイトの福祉とQOL(生活の質)の向上にご支援・ご協力を戴き御礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染流行が縮小したので計画した行事は注意を払いながら、ほぼ実施できました。

今年度も感染症に注意を払って、次の行事の開催を計画いたします。その都度、皆様に開催案内等でお知らせします。

暑さが厳しくなるこれからは、ストーマ周囲の炎症等トラブルが多くなります。ストーマケアに充分にご注意のうえお過ごしください。また、適度な運動や散策等で体力を維持して「健康寿命を延ばす!!」を実践願います。

【令和6年度の支部行事】

- ・6月1日(土)「支部総会・春の研修会」

会場: アスト津 研修室A 13時30分～

(1)「能登地震の避難所支援対応」

講師…三重県立総合医療センター

副看護部長 奥田 美香様

DMAT隊員(災害派遣医療チーム)

(2)「ストーマ用品セフティーネット連絡会での能登地震への対応」

講師…ストーマ用品メーカー幹事会社

- ・10月「秋の研修会」 会場：アスト津（予定）
13時30分～
- ・11月「一泊研修会」会場：鳥羽市内ホテル（予定）
…大浴場での入浴体験、参加者同士でストーマケアの実践の話し合い等を行います。
- ・令和7年3月「新入会員研修会」 会場：アスト津
…新入会員の有無等で開催の可否決定。

オストメイトは、ご家族のご協力があって始めて快適なストーマ生活が過ごせます。研修会等の行事にご家族でのご参加を歓迎いたします。

※注 (1)オストメイト…ストーマを造設した人のことを言います。

(2)ストーマ…腹壁に造設した排泄口のこと。消化管ストーマ（人工肛門）と尿路ストーマ（人工膀胱）があります。

連絡先：支部長 ☎ 059-346-2589（溝川 紳一）
事務局 ☎ 059-226-5201（在間 敏明）

三重県肢体不自由児者父母の会連合会

◎令和5年度主な事業実績

東海北陸ブロック静岡大会

- ・期 日：6月10日（土）～11日（日）
- ・場 所：浜松市
- ・テーマ：地域における親の会の役割
～支援が必要な子供達の声が届ける～
- ・参加者：13名

◎令和6年度主な事業

①東海北陸ブロック三重大会

- ・期 日：6月8日（土）～9日（日）
- ・場 所：志摩市
- ・テーマ：住み慣れた地域で一人ひとりが自分らしく生きること、親として準備しておくこと

② 障害者の明るいくらし：バス旅行

- ・期 日：11月17日（日）予定
- ・場 所：愛知県、名古屋市内

☆コロナにより長い間、行動を制限されたことで、各種行事への参加者が減少傾向にあります。今年度は従来通り事業が実施できることを願っています。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ

県肢連会長 鈴木錠平 ☎・FAX 059-333-0005

三重県重症心身障害児(者)を守る会

皆様こんにちは。

私達を守る会の原点は、昭和39年6月に重い障害のある子どもの親達を中心となって設立し「最も弱いものをひとりももれなく守る」という基本理念のもと、60年にわたり重症心身障害児・者運動です。

その中心人物であった北浦会長が、102歳の天寿を令和5年2月に全うされました。

私達は、この理念を元に様々な活動を行ってきました。

国に対しての要望活動、陳情活動、関係省庁等会議における政策委員会（内閣府）、国交省での車椅子利用ガイドラインへの協力、そして厚労省、文科省への審議委員の出席、こども家庭庁との関係等、様々行っております。

又、法人格も有しており、施設等も経営しております。（例：保健医療・福祉施設あしかがの森 他10か所）これから生まれる医ケア児に対しても、親子が救われるよう頑張っています。

しかし、会員の高齢化が問題となってきて、その結果会員数が年々減少してきました。おかげ様でこの60年で障害者に対する意識がずいぶん良くなってきていると感じています。差別意識が少なくなり、世間からこもりがちだった親子は表に出る様になり、又、公共施設でのユニバーサル基準を適用した法律もできました。私達三重支部も、コロナが明け、すこしずつですが、県を初め各基礎自治体へもパンフ等の配布、三重大学・各医師会・歯科医師会、他団体とのつながりて存在を認知していただく様、地道に頑張っています。

皆様も温かい目での見守り、宜しく願いいたします。

会長 山本 静雄

☎・FAX 0596-23-0216

三重県脊髄損傷者協会

「コアラバイクで車いすリレーマラソン」

今年度は下記のイベントを開催します。

三重県から石川県へ、コアラバイクに乗ってリレーマラソンを開催します！運転可能な車いすで参加し、羽咋市の「千里浜なぎさドライブウェイ」までの道のりをリレーランで走行します。バイクイベントの「SSTR2024」に参加となります。

参加者募集

日程：2024年10月（予定）



コアラバイク

場所: 三重県～石川県 羽咋市「千里浜なぎさドライブウェイ」

参加条件: 車いす利用者、リレーランに参加したい方
問い合わせ: 三重県脊髄損傷者協会
TEL 059-386-9733 (松田)

E-mail y-matui@orchid.plala.or.jp (松井)

但し、令和6年能登半島地震の影響が残っているため予定が変更となる可能性があります。

SSTRとは

SSTR (Sunrise Sunset Touring Rally) は、元パリ・ダカールラリー風間深志氏が発案した、日の出とともにライダー自身で定めた日本列島の東海岸(太平洋・瀬戸内海)からスタートし、日没までに日本海の石川県羽咋市「千里浜なぎさドライブウェイ」(日本で唯一、バス・自動車・バイク等の一般車両が走行可能な砂浜、8kmの道路)にゴールするというバイクのイベントです。

「Chasing the Sun」(太陽を追い駆ける)をテーマに掲げ、東の海に昇る朝日とともにスタートし、太陽を追い駆けながら日本列島を横断し、西の海「千里浜」に沈む夕日を見送るという、かつてない壮大なスケールのアドベンチャーラリーです。

優劣をつけるものではなく、それぞれのライダーが自身の旅のテーマに沿い、無事にゴールゲートを通し、全国から集まったライダー同士で交流を深めることを、主な目的とした自己完結型のラリーです。

コアバイクは、スクーターをベースに車体後部に昇降用スロープが設けられおり、車椅子のまま乗車し、ハンドルを使い運転します。サイドカーが付いており、健常者も一緒に乗車できるようになっていて、普通自動車免許を持っていれば初心者でも運転ができます。

事務局 ☎ 059-386-9733 (松田)

三重難病連

三重難病連は現在21(2団体活動休止)の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

●疾患別相談(毎週火・木曜日10時～16時)

三重難病連に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

●地域難病相談会(時間は全て13時～15時)

地域の医師会やハローワーク、患者会、保健所と協力して、生活相談や医療相談、就労相談等をお受けします。参加無料、要・事前申込

7月7日(日) 伊勢地域難病相談会 三重県伊勢庁舎

9月1日(日) 名張地域難病相談会

総合福祉センターふれあい

10月6日(日) 桑名地域難病相談会 柿安シティホール

11月10日(日) 鈴鹿地域難病相談会 三重県鈴鹿庁舎

●就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜日10時～16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。(☎059-223-5045)

●小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

(☎059-223-5046)

【三重県難病相談支援センター】☎059-223-5035

<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県身体障害者総合福祉センター

指定管理者として、「障害者支援施設」と「身体障害者福祉センターA型」の運営をしています。

障害者支援施設(生活援助棟)は、身体に障がいがある方、高次脳機能障がいがある方、難病の方に対して、障害福祉サービス(施設入所支援・自立訓練(機能訓練・生活訓練)・生活介護・就労移行支援・短期入所)を提供しています。高次脳機能障がいに関しての困りごと・お悩みについては、担当の相談員がご相談をお受けしています。

(☎059-231-0037)

身体障害者福祉センターA型では、各種相談の実施、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、福祉用具や自助具の普及促進・相談、障がい者スポーツの推進などを行っています。福祉用具展示コーナーでは様々な福祉用具等を見学いただけます。

障がい者スポーツの推進につきましては、今年は佐賀県で実施される第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」に向けた選手の派遣準備や障がい者スポーツを支える人材育成として競技役員・指導員の養成や競技団体への支援等を実施しています。

また、令和4年度より三重県が開設した三重県障

がい者スポーツ支援センターの運営を行っており、障がい者スポーツの裾野の拡大を図るため、障がい者スポーツコンシェルジュによるワンストップ相談窓口を設置し、障がい者スポーツに関する情報提供やアドバイス及び障がい者スポーツを支援したい企業等と選手や競技団体等とのコーディネーター業務を行っています。

障がい者スポーツの振興、交流事業としては、県内各地域で体験教室などのイベントを実施しています。障がい者スポーツを始めたい方や障がい者スポーツを応援したいという方はご連絡ください。

今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
☎ 059-231-0155（代表） FAX 059-231-0356
HP：https://www.mie-reha.jp/

三重県立特別支援学校長会

令和6年3月、県内の教育を振興するための基本施策を示す「三重県教育ビジョン」があらたに策定されました。同ビジョンは今年度から令和9年度までの4年間の本県教育の方向性を示すものであり、6つの基本施策のうちには「特別支援教育の推進」が位置づけられています。ここには共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築を根底に据えた、今取り組むべき特別支援教育の考え方が示されています。

三重県立特別支援学校長会では同ビジョンの理念のもと、障がいのある子どもたち一人ひとりに応じた切れ目のない教育・支援の充実、卒業後への展望を視野に入れた自立と社会参画に向けたキャリア教育の推進に今年度も全力で取り組んでまいります。

特に特別支援学校においては、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校と連携しながら子どもたちが適切な教育的支援が受けられるようセンター的役割を果たすとともに、労働・福祉・医療等の関係機関と緊密な連携を図ることで、子どもたちの希望する進路の実現につながるキャリア教育を推進します。

また、障がい種別や地域性など各々の特別支援学校の実情をふまえ、「施設・設備の老朽化」「児童生徒数増による教室不足・狭隘化」「防災上の安全確保」「通学区域の変更」など特に教育環境に関わる課題の解決に向けて、三重県教育委員会と協働して取組を進めます。

あわせて多方面にご心配をおかけしている特別支

援学校での近年の不祥事を根絶するための実効性あるコンプライアンス研修をはじめ、命を大切にする教育や人権教育、いじめ防止等への取組を進めつつ、子どもたちの障がい特性の理解を深める教員の専門性の向上に努めます。

これらの取組を進めるにあたって何より大切なのは、子どもたちや保護者の想いに寄り添い、同じ方向を向いてともに歩いていくことであり、そのためには各関係団体・機関の皆様との連携協力が不可欠です。子どもたちが将来にわたって地域の中で豊かに自分らしく生きていけることを目指して取組を進めてまいりますので、今後ともご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県立城山特別支援学校
☎ 059-234-3431（森井博之）

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

- ① 一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適應するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ② 事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③ 障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津3階）
☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

高齢・障害者業務課

- ① 事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。
- ② 障害者雇用への理解を広げるため、三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会（アビリンピックみえ）」を開催しています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津2階）
☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270



三重県ボランティア連絡協議会

平素は当会の活動にご理解ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

コロナ感染症も5類に移行となって、少しばかり気持ちを軽くしながらの外出を楽しまれている事と思います。

1月1日に発生した能登半島地震にはお正月気分が一瞬で吹っ飛んでしまい災害に遭われた皆さんの無事を祈るばかりでした。

2月4日から輪島市の福祉避難所へ三重県ボランティア連絡協議会として炊き出しに行きました。道路状況、トイレ、水道もままならない現状の中ではありましたが、用意していった野菜の煮付け等を大変喜んで食べていただきました。今後も継続しての支援を約束して帰路につきました。

令和6年度 代議員会を5月26日（日）に開催しました。

県社協横田常務理事に来賓挨拶を頂戴して議案審議も皆さんの賛同のもと今年度のスタートをきらせていただきます。

第2部 記念講演は

講師：大阪府豊中市社会福祉協議会事務局長
勝部 麗子氏

演題：ひとりぼっちをつくらない～すべての人に居場所と役割を～

会長 川瀬みち代

事務局：三重県ボランティアセンター

☎ 059-229-6634

三重補助犬普及協会

介助犬・聴導犬および盲導犬を身体障害者補助犬といいます。

これらを使って自らのQOLを高め社会参加を推進しようとする人たちを応援します。

そのために私たちは街頭啓発や利用体験・相談会の開催などを通じて社会への働きかけを行うとともに身体障害者補助犬を使用する当事者の学習の支援や情報交換の活動も行います。

令和6年度の啓発活動の予定

- 8月：介助犬のデモと相談会 明和イオンモール
- 9月：補助犬ユーザーのスキルアップ研修会 鳥羽
- 10月：津まつりで街頭啓発活動 津市
- 11月：障がい者芸術文化祭で啓発活動
- 11月・1月：街頭啓発活動 伊勢市内
- 1月：盲導犬のデモと体験相談会 津市
- 逐次：小中高校での福祉講座の開催（十数回）

【お問合せ】協会事務局 ☎ 059-222-8419

E-mail: mie-hojyoken@pasoya.jp

「みえ障がい者共生社会づくりプランー 2024～2026 年度ー」が策定されました。

1. 計画策定の趣旨

「みえ障がい者共生社会づくりプランー 2021 年度～2023 年度ー」策定以降における現状と課題や障がい者施策を取り巻く環境変化等をふまえ、総合的かつ計画的に障がい者施策を推進するために策定するものです。



2. 計画の基本的事項

計画の性格

本県が取り組む障がい者の自立および社会参加の支援等のための施策の方向性を明らかにした計画

計画の位置づけ

- 障害者基本法に定める都道府県障害者計画
- 障害者総合支援法に定める都道府県障害福祉計画
- 児童福祉法に定める都道府県障害児福祉計画
- 視覚障害者等に読書環境の整備の推進に関する法律に定める県計画
- 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律に定める県計画
- 難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本指針に

基づく都道府県計画

計画の期間

令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3年間

他の計画との関係

本県の戦略計画である「みえ元気プラン」をふまえて策定するとともに、関連する他の計画との整合を図っています

3. 基本理念

障がいの有無によって分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現

4. 計画推進の基本原則

さまざまな分野において障がい者施策を展開するにあたり、その全ての取組の基礎として、共通に位置づけられる原則を次のように定めます。

- 障がい者の自己決定の尊重と意思決定の支援
- 社会的障壁の除去
- 障がい者本位の途切れのない支援
- 障がいの特性等に応じたきめ細かい支援

令和6年度障がい者社会参加促進等事業

○三重県障害者社会参加推進センター 委託事業

団体名	事業名	団体名	事業名		
障害者団体連合会	障がい者相談員等研修	知的障害者育成会	知的障がい者交流レクリエーション事業		
	身体障害者補助犬育成等事業		精神保健福祉会	精神障がい者理解促進啓発事業	
	声の「ふれあい」発行事業			難病連	難病による障がい者理解促進事業
	身体障がい者交流レクリエーション教室	日本オストミー協会三重県支部	○三重県障がい者芸術文化活動支援センター委託事業		
	カローリング教室			オストメイト社会適応訓練事業	
	ボウリング教室			肢体不自由児(者)父母の会	障害者団体連合会
	グラウンドゴルフ教室				
	ふれあい交流会(体験発表等)			脊髄損傷者協会	脊髄損傷者理解促進事業
	未婚障がい者出逢い支援事業				
	聴覚障害者協会	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業	音声機能障がい者発声訓練事業		
	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業			音声機能障がい者発声訓練指導者養成事業	
	東海聴覚障害者体育大会				
全国ろうあ者体育大会					



三重県障がい者相談員等研修会開催

目的

障がい者の社会参加と自立促進を目指すなかで、障害者相談員等が一堂に会し、障がい者の人権や最近の諸問題などの情報提供を行い、地域で生活している障がい者を支援するため、相談対応能力の向上と相談員間の連携を図る。

日時

令和6年10月9日(水)
受付12時30分
開会13時00分 閉会15時30分

会場

三重県総合文化センター
「フレンテみえ」1階 多目的ホール
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234

参加者

- ①身体・知的・精神障害者相談員
- ②県、市町、市町社会福祉協議会等の相談業務担当職員等
- ③各市町障害者団体の長、保護者、家族会等の長
- ④障がい者、支援者等

参加人員 150名

事務局

公益社団法人 三重県障害者団体連合会
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2 (三重県身体障害者総合福祉センター内)
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp

研修内容

- ①講演 「合理的配慮の提供と事例発表」
講師 三重県子ども・福祉部 障がい福祉課 社会参加班 障がい者差別解消推進員 東 昭宏 氏
- ②講演 「障害者日中サービス支援型グループホームの意義と地域における役割」
講師 株式会社 紳 代表取締役 兼 管理者 三井 紳 基 氏
- ③人権研修 「無意識的に起こすSNS上の人権侵害への考察と知見」
講師 公益財団法人 反差別・人権研究所 みえ 研究員 中村 尚生 氏

参加申込

参加申込書に必要事項を記入のうえ事務局へ直接郵送又はFAX、メール送信

申込期限

令和6年8月30日(金) (期限厳守)



第26回

日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会

日時 令和6年11月11日(月)～12日(火)
場所 ホテルフジタ福井

第70回

三重県身体障害者福祉大会

日時 令和6年11月29日(金)
式典 10:30～11:30(受付9:30から)
郷土芸能 11:30～12:00
場所 松阪市 農業屋コミュニティ文化センター

令和6年度 社会参加推進協議会団体 開催事業予定

開催日	団体名	場 所	テーマ・内容等
7/21(日)	三重県障害者団体連合会	津市久居アルスプラザ	芸術文化活動支援に関する研修会 (やまなみ工房施設長講演会)
8/3(土)	三重県障害者団体連合会	名張市武道交流館いきいき	青年活性化事業(カラオケの集い)
8/17(土)~28(水)	三重県障害者団体連合会	パラミタミュージアム (菰野町)	令和5年度三重県障がい者芸術文化祭 受賞作品展
8/24(土)	三重県障害者団体連合会	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 (鈴鹿スポーツガーデン)	カローリング教室
9/24(火)~25(水)	三重県障害者団体連合会	里創人倶楽部伊勢志摩	障がい者ふれあい交流会
10/6(日)	三重県障害者団体連合会	三重中央自動車学校	自動車安全運転競技会
10/9(水)	三重県障害者団体連合会	三重県総合文化センター 「フレンテみえ」多目的ホール	三重県障がい者相談員等研修会
10/12(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場	第27回三重県障がい者スポーツ大会「陸上競技」
10/21(月)~27(日)	三重県障害者団体連合会	シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢	令和5年度三重県障がい者芸術文化祭受賞 作品展(伊勢市美術展覧会)
10/27(日) 2/23(日)	三重県障害者団体連合会	三重県身体障害者総合 福祉センター	出会い支援事業(結婚相談)
10月(日は未定)	日本オストミー協会 三重県支部	津市・アスト津(予定)	秋の研修会 テーマ未定
11/4(月) (振替休日)	三重県障害者団体連合会	三重県身体障害者総合 福祉センターグラウンド	グラウンドゴルフ教室
11/7(木)	三重県身体障害者総合福祉センター	津グランドボウル	第27回三重県障がい者スポーツ大会「ボウリング」
11/11(月)~12(火)	三重県障害者団体連合会	ホテルフジタ福井	第26回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会
11/16(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	亀山市西野公園体育館	第27回三重県障がい者スポーツ大会 「バレーボール」精神障害の部
11/22(金)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合 福祉センター	みえ福祉用具フォーラム2024
11/23(土)~24(日)	三重県障害者団体連合会	津市白山総合文化センター	令和6年度 三重県障がい者芸術文化祭
11/29(金)	三重県障害者団体連合会	松阪市農業屋コミュニティセ ンター	第70回三重県身体障害者福祉大会
11月(日は未定)	日本オストミー協会 三重県支部	鳥羽市内	公衆浴場での入浴体験・ストーマケアの経験 等の話し合い・災害対応
12/7(土)	三重県障害者団体連合会	津グランドボウル	ボウリング教室
1/19(日)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合 福祉センター	第27回三重県障がい者スポーツ大会 「サウンドテーブルテニス」
1/22(水)~26(日)	三重県障害者団体連合会	亀山市文化会館	みえアールブリュット2025 亀山会場(作品展)
1/28(火)~31(金)	三重県障害者団体連合会	三重県庁 県民ホール	令和6年度三重県障がい者芸術文化祭受賞 作品展
2/8(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合 福祉センター	第27回三重県障がい者スポーツ大会「卓球」 (一般卓球)
2/14(金)~17(月)	三重県障害者団体連合会	津市久居アルスプラザ	みえアールブリュット2025 津会場(作品展)
2/15(土)	三重県身体障害者総合福祉センター	三重県身体障害者総合 福祉センター	第27回三重県障がい者スポーツ大会「ボッチャ」
3月(日は未定)	日本オストミー協会 三重県支部	津市・アスト津(予定)	ストーマケア・旅行・入浴・食事等 健常時と同様の日常生活を送るには

(お問合わせ) 日本オストミー協会 三重県支部
三重県身体障害者総合福祉センター
三重県障害者団体連合会

TEL 059-226-5201
TEL 059-231-0155 FAX 059-231-0356
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182



芸術文化活動支援に関する研修会

「すべては幸せを感じるために ～やまなみ物語～」

日時：令和6年7月21日(日)

場所：久居アルスプラザ アートスペース 13:00～

講師：やまなみ工房 施設長 ^{やました まさと} 山下 完和氏



三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展

日時：令和6年8月17日(土)～28日(水) 9:30～17:30(入場17:00まで)

場所：パラミタミュージアム 1階小ギャラリー(菰野町大羽根園松ヶ枝町 21-6)

入場無料/会期中無休

※小ギャラリー以外の入館は入館料が必要です。
障害者手帳をお持ちの方は無料です。



みえアールブリュット 2025

MIÉ ART BRUT 2025
～ 三重のたからもの～



三重県障がい者芸術文化祭受賞作品及び、三重で活躍している作家の作品展示
開催日及び場所

①令和7年1月22日(水)～26日(日)

亀山市文化会館コミュニティセンター(亀山市東御幸町 63)

②令和7年2月14日(金)～17日(月)

津市久居アルスプラザ(津市久居東鷹跡町 246)

「えきねっと」(インターネット)JR券申込サービスが障がいのある方へ向けた新しいサービスを開始しました



「えきねっと」とは、JR 東日本が提供するオンラインで JR きっぷを申込めるサービスです。2024年2月26日(月)より、「身体障害者割引乗車券・知的障害者割引乗車券の取り扱い」、「新幹線車いす対応座席の取り扱い」が開始されました。マイナポータルと連携することで、障害者割引を適用した JR6社のきっぷを窓口に行かずに Web 上で購入できます。その他にも、ポイントが貯まるなどのメリットもあります。

詳しくは「えきねっと 障害者割引ご利用ガイド」をご覧ください。

<https://www.eki-net.com/top/jrticket/guide/certification/>

※ご利用には「えきねっと」への会員登録、マイナポータルへの利用者登録が必要です。



～ あなたも参加しませんか～

移動手段として大切な車の安全運転、ルール・マナーを習得し、日常生活の中で習慣づけるよう努める、自動車安全運転競技会を開催

日時：令和6年10月6日(日) 開会 10時

場所：三重中央自動車学校

(津市高茶屋 4丁目 48番 8号)

対象：障がい者で運転免許証の所有者

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(お問い合わせ) 電話 (フリーダイヤル)
0120-263-323